

高倉通信

平川市
東奥日報
尾上販売店
第172号

東奥日報
朝日毎日
読売日本経済
スポーツ新聞各種

李平町会センターに書を寄贈

李平町会（町会長小田桐治さん）では、地域の憩いの場、防災の拠点となる「李平町会センター」がこのほど完成し、1月31日おひろめ会が開かれました。他町会館を参考にしながら細かな所に工夫をこらしたそうで、安心安全で落ち着いたたらずまいとなっています。



成田仁山氏による書「風神」

中に入っただけで、飛び込んでくるのは、同町会在住の書家、成田仁山氏が寄贈した書道作品です。力強い筆跡で書かれた「風神」は風を司る神といわれ、自然災害から守るご利益の他、健康や子孫繁栄にもご利益があるといふことで、成田さんも「コロナ禍の中、日常の生活に早くもどってほしいとの願いを込めて書きあげた」とはなして

いました。



李平町会センター

SNSと子どもたちの見守り

平川市生涯学習センターで2月27日、「SNSと子どもたちの見守り」と題してインターネット協会主催研究員の久保貴世氏による講演会が開か

れました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとって、講師は東京からリモート出演し、会場には25名、オンラインでも10名程が参加。コロナ禍だからこそ伝えたい見守り対策について、相談事例を交えながら、インターネットの基礎知識などをお話していました。



講師は東京からリモート出演

開運厄除節分祭

猿賀神社

2月7日、猿賀神社では開運厄除（やくよけ）節分祭が行われました。これは、厄年・年男・年女の方々が無病息災・悪



祈とうを受けたみなさんが「福は内、コロナ退散」

疫退散・開運招福を願って豆まきをする行事で、景品が当たる福豆が含まれていることもあり、多くの参拝者のみなさんがつめかけ、豆を拾い集めています。
また豆まきの前に、拝殿では厄年・年男・年女の方々の厄ばらいのご祈とうが行われ、今回は新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、「福は内、コロナ退散」と、威勢よく豆をまいていました。